

第6回 未来創造セミナー

みんなで考えよう、明日の草津

～公民学連携のプラットフォーム
“アーバンデザインセンター”～

1

平成28（2016）年3月26日（土）

市民交流プラザ 大会議室

草津市総合政策部草津未来研究所

スケジュール

- ▶ 10:00 ご挨拶 草津市総合政策部草津未来研究所 副所長 山本 憲一
- ▶ 10:02 未来創造セミナーについて
草津市草津市総合政策部草津未来研究所 参事 溝内 辰夫

- ▶ 10:05 ~ 10:45

公民学連携のプラットフォーム

「アーバンデザインセンター」について

立命館大学教授・草津未来研究所顧問 肥塚 浩

- ▶ 10:45 ~ 11:55

ワークショップ

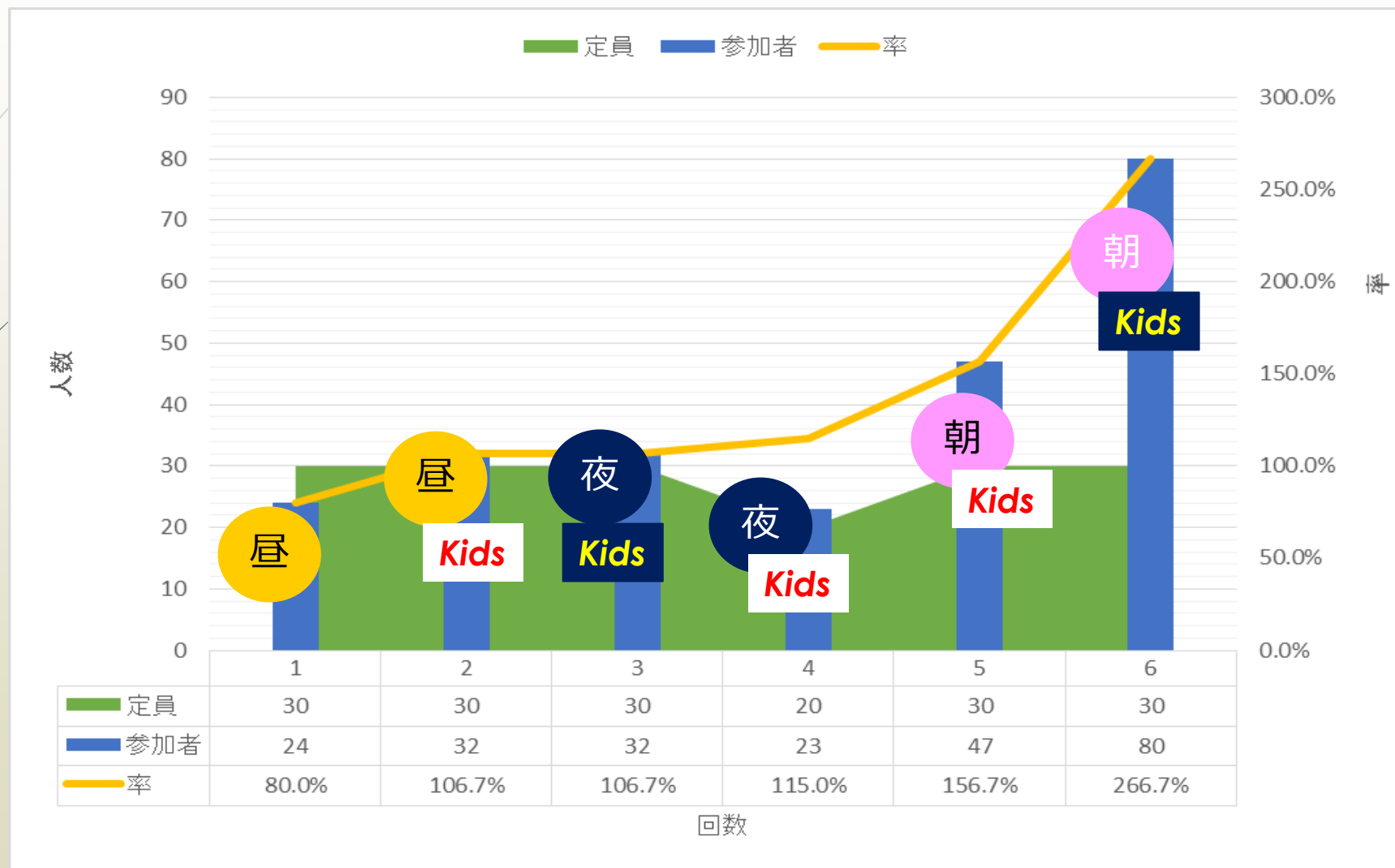
大学と市民が一緒にやりたいこと、できること

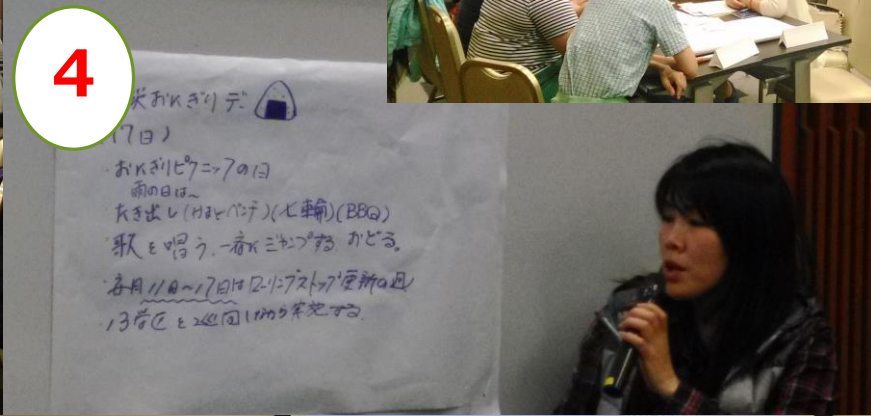
未来創造セミナー開催の目的

- ▶ 気軽に自由に議論や話ができる空間が演出され、常に新しい出会いが創造される「場」
 - ▶ 地域をベースに市民と行政、企業、大学等が連携してまちづくりを進めていくための「場所」
- を検討するため、南草津駅前の市民交流プラザにて「未来創造セミナー」を開催する。

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
テーマ	理想とする女性の働き方	子育てしやすいまち	アーバンデザイン (散歩道)	文化	動・食・美	大学地域連携
庁内連携部署	男女共同参画室	子ども・子育て推進室	都市計画課	未来研究所	未来研究所	未来研究所
専門家	二宮周平 (立命館大学) 京樂真帆子 (滋賀県立大学)	小沢道紀 (立命館大学)	武田史朗 (立命館大学)	木下達文 (京都橘大学)	岡本直輝 (立命館大学)	肥塚浩 (立命館大学)
開催日時	平成27年 7月30日 14:00～16:30	平成27年 8月25日 14:00～16:30	平成27年 11月5日 18:00～20:00	平成27年 12月3日 18:15～20:15	平成28年 1月26日 10:00～12:00	平成28年 3月26日 10:00～12:00
子ども	×	○	○	○	○	○
場所	市民交流プラザ（南草津駅前）					

未来創造セミナー参加実績

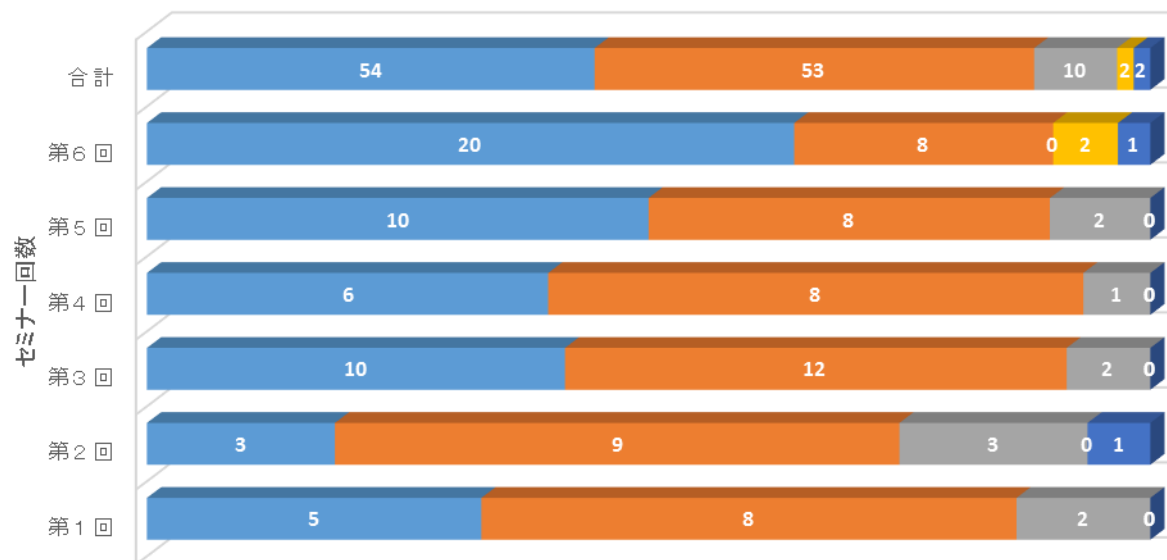




アンケート集計結果

運営等全般

■非常に有意義 ■有意義 ■まあまあ ■物足りない ■非常に物足りない



	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	合計
■非常に有意義	5	3	10	6	10	20	54
■有意義	8	9	12	8	8	8	53
■まあまあ	2	3	2	1	2	0	10
■物足りない	0	0	0	0	0	2	2
■非常に物足りない	0	1	0	0	0	1	2

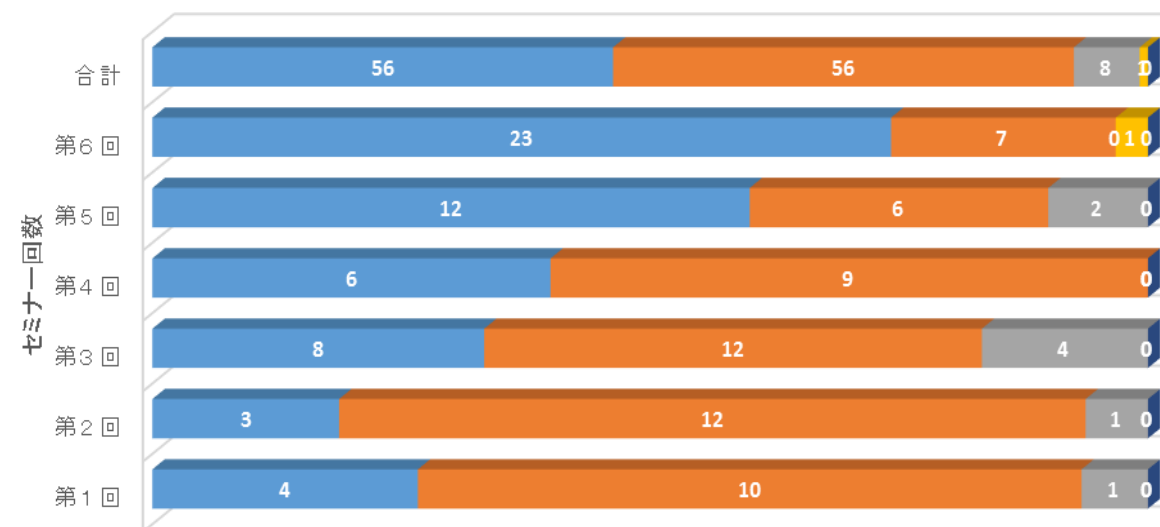
時間が短い

回答数

時間が短い

セミナーの内容

■非常に有意義 ■有意義 ■まあまあ ■物足りない ■非常に物足りない



	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	合計
■非常に有意義	4	3	8	6	12	23	56
■有意義	10	12	12	9	6	7	56
■まあまあ	1	1	4	0	2	0	8
■物足りない	0	0	0	0	0	1	1
■非常に物足りない	0	0	0	0	0	0	0

回答数

セミナー参加者の主な意見

- 気軽に話せる雰囲気だったので話しやすかったです。話が盛り上がってワクワクしました。次につながるといういいなあと思います。
- こうやって行政の方、大学の方、市民がざっくばらんに話せる機会がもてていることがそもそも素晴らしい。
- 問題意識を持たないで来ましたが、色々と考える機会になりました。こういう所から未来創造というものがあるのかなと思いました。
- 長く住んでいる方、昔住んでた方、お子さんのいらっしゃる方など自分とは違う目線の色んな意見が聞けたため。
- 普段気にとめないようなことも、よく探せば面白いという発見があっておどろいた。草津市について考えている方が市民のなかでもこんなにたくさんおられたのもおどろいた。
- 託児付き？で子供が泣きながらも運営できるところがすばらしかった。時間も2hでちょうど良いと感じました。

セミナー参加者アンケートからの課題

- ▶ いつも同じ顔ふれになりがちなので、ぜひ話したいのにこのような場所を知らない人、知っているけれど一歩踏み出せないでいる人、楽しそうに議論している様子を見てテーマに関心を持つかも知れない人など**いろいろな人が気軽に参加できるように**考えてほしい。
- ▶ 私のいたテーブルは当たり(?)だったようで、とても楽しい有意義な時間を過ごせましたが、お友達のいたテーブルは、終始雑談で何だかなあ...。と思ったようです。同じセミナーにせっかく参加したのだから、**できるだけみんなが楽しくすごせた方が良かったの**になあ...。と思います。(私は、よくセミナーに行くけど、友達は初めてです。)初めて来た人にこそ、楽しいやん。また来てもいいな。と思ってもらった方がよいのでは? 様子みて、席かえとか、あっても良かったのかな? と思いましたが、どうでしょう。初参加の人に、雑談では、次来ないよ。(原文ママ)
- ▶ もっと多くの人に参加してもらいたい。**自分を発見し、地域を発見する。その繰り返しをしていくことでより深くなるのだと思う。なぜ、なぜ、なぜをくり返す。**草津の根っこを発見し、もっとしっかり根をはる事をしていくこと、**コミュニケーションをもっと取ってお互いの理解を深めたい。**
- ▶ **意見をぜひ実現**しましょう
- ▶ **継続的に同じテーマ**でやったほうがいい

公民学連携のプラットフォーム 「アーバンデザインセンター」について



肥塚 浩

立命館大学教授・草津未来研究所顧問

経歴

1984年立命館大学経済学部卒業、同大学院経済学研究科博士後期課程修了。博士（経営学）。島根大学、立命館大学、立命館アジア太平洋大学助教授・教授を経て、現在、立命館大学経営学部教授・OIC総合研究機構長。専門は経営戦略、大学経営、医療経営。2010年4月より草津未来研究所副所長、2012年4月より同顧問。

ワークショップ

—大学と市民と一緒にやりたいこと、できること

- ▶ 平成28（2016）年10月より開設予定の（仮称）アーバンデザインセンターびわこ・くさつで実施するプログラム（「交流・学習」「調査研究」「社会実験」「情報発信」）、および場所の利活用方法等について、大学（または市民や企業）とやりたいことを提案してください。

<タイム・スケジュール>

10:45	～	10:50	説明
10:50	～	11:35	検討
11:35	～	11:55	発表

ワークショップの進め方

- ▶ 簡単な自己紹介
- ▶ グループで、それぞれのやりたいテーマをいくつも書き出してもらい、模造紙に貼り付けてもらう。
- ▶ グループで議論してもらい、テーマを決める。
 - ▶ 投票でひとつに決める
 - ▶ 類似のテーマを分類し、大項目で纏めて検討する
 - ▶ 全く関係なさそうなテーマを結び付けてみる
- ▶ そのテーマについて、企画書・提案書を作成
- ▶ 1グループ 2分でプレゼン

発表イメージ

■ テーマ

読んでわかる面白そうなタイトルを！

■ 背景・目的 なぜ それをしたい？

■ 方法 どうやって

交流・学習

調査研究

社会実験

■ 組みたい大学、専門家、学部等 誰と

■ 効果 どう変わる？

草津市と包括協定締結大学（1）

▶ 立命館大学

▶ 経済学部

▶ スポーツ健康科学部

▶ 理工学部

▶ 情報理工学部

▶ 生命科学部

▶ 薬学部

▶ （食科学部） 開設予定（平成30（2018）年度）

びわこ・くさつ

草津市と包括協定締結大学（2）

▶ 立命館大学

▶ 経営学部

▶ 政策科学部

▶ 総合心理学部（平成28（2016）年度開設）

大阪いばらき

▶ 法学部

▶ 産業社会学部

▶ 国際関係学部

▶ 文学部

▶ 映像学部

衣笠

草津市と包括協定締結大学（3）

- 滋賀大学
 - 経済学部
 - 教育学部
- 滋賀県立大学
 - 環境科学部
 - 工学部
 - 人間文化学部
 - 人間看護学部

草津市と包括協定締結大学（4）

- 京都橘大学
 - 文学部
 - 人間発達学部
 - 現代ビジネス学部
 - 看護学部
 - 健康科学部

草津市と包括協定締結大学（5）

- ▶ 成安造形大学
 - ▶ 総合領域
 - ▶ デザインプロデュースコース
 - ▶ イラストレーション領域
 - ▶ イラストレーションコース
 - ▶ 美術領域
 - ▶ 日本画コース
 - ▶ 洋画コース
 - ▶ 現代アートコース

草津市と包括協定締結大学（6）

- ▶ 成安造形大学
 - ▶ メディアデザイン領域
 - ▶ 写真コース
 - ▶ グラフィックデザインコース
 - ▶ アニメーション・CGコース
 - ▶ 映像・放送コース
 - ▶ 空間デザイン領域
 - ▶ コスチュームデザインコース
 - ▶ プロダクトデザインコース
 - ▶ 住環境デザインコース

(仮称) アーバンデザインセンター運営 ワークショップ

- ▶ (仮称) アーバンデザインセンターの利用を希望する市民を対象にアーバンデザインセンターの実施事業プログラム、機能、利用ルール等について検討するワークショップを開催する。なお、検討した利用ルール等を参考に運営委員会にて決定する。
- ▶ 開設までの4月から9月までの間で4回実施する。

今後のご相談

- ▶ 提案をさらに具体化したい場合等は、下記までご相談ください。

草津市総合政策部草津未来研究所

TEL 077-561-6009

FAX 077-561-2489

E-mail kusatsumirai@city.kusatsu.lg.jp